

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎0968(25)7231

旭志中学校

電子工作で半導体を学ぶ



岩根雪乃さんは「半導体が身近な製品に使われていることが分かって、もっと勉強したくなりました」と話していました

県の出前授業で、2年生が熊本高専の高倉健一准教授から半導体について学びました。生徒たちは基盤にマイコンやLEDをはんだ付けしながら、残像で文字を表示するディスプレイを制作しました。また、電卓を分解し、中の半導体を確認。身の回りに半導体が使われていることを実感していました。

泗水中学校

親への感謝の手紙と記念植樹



⑤育ててくれた親へ感謝の気持ちを伝えました ⑥記念植樹は正門横の校庭にシャリンバイを4本植えました

2年生は令和5年度最後の授業参観で、立志式を実施しました。当日はこれまで育ててもらった人へ感謝の気持ちを手紙に託して発表したり、立志の記念として校内に記念植樹を行ったりしました。自分自身と向き合って、高い志を持ち、大人になる自覚を深めることができた貴重な一日となりました。

隈府小学校

12月19日 授業で学んだことをみんなで発表



参観者からは、「こみ上げてくるものがあり、とても感動しました」といった温かい感想を聞くことができました

全校児童や保護者、お世話になった皆さんを一堂に会して、学習発表会を行いました。1・2年生は国語の学習で学んだこと、3・4年生は地域の文化や農産物、そして福祉のこと、5・6年生は水保での学習や平和について発表しました。子どもたちは授業で学んだことを真剣に発表していました。

泗水東小学校

2月5日 おいしいシイタケ、楽しみだな!



シイタケが収穫できるのは来年の秋頃と聞いて、児童たちは驚いていましたが、とても待ち遠しい様子で楽しみにしていました

毎年、3年生を対象にシイタケ教室を行っています。県北広域本部や地域の生産者から、シイタケについて学びました。原木へのごま打ち体験では「きれいにこまが入った」「いい音がする」と楽しんでいました。児童たちにはさまざまな体験を通して、食べ物大切に育てる心を育ててほしいと願っています。

七城小学校

2月14日 税金について楽しく学ぶ「租税教室」



自分たちが受けている教育や医療、災害援助からごみの収集まで、さまざまなことに税金が使われていると知ることができました

6年生が「わたしたちのくらしと税」について学びました。県北広域本部収税課から講師を招いて、どのようにして税金を納めているのか、税金は何に使われているのかなど、分かりやすく教えてもらいました。学習を通して、子どもたちは税金の必要性や大切さを実感し、納税への意識が高まっていました。

市内3高校の魅力伝えます!

高校魅力化全力通信 vol.13

【問い合わせ先】
菊池農業高校 ☎0968(38)2621

生徒4人がタイを訪問
現地の生徒と交流

本校生徒が所属する日本学校農業クラブ連盟(Future Farmers of Japan以下:F.F.J)では、アメリカや韓国、タイなどの友好団体と交流を行っています。今回は1月24日から7日間、タイを訪問しました。本校からは畜産科学科の前田奏咲さん(2年)、刀川栄伸さん(2年)、田中優羽さん(1年)、食品化学科の後藤新翔さん(2年)と卒業生の辻さらさんが参加しました。生徒からの報告を紹介します。

1 着物と紋付き袴に着替え会場へ
タイのF.F.T(Future Farmers of Thailand以下:F.F.T)ではシリン トーン王女が直々に、農業関係者や成績優秀者を表彰していました。私たちも着物と紋付き袴姿で王女をお迎えし、その様子は国営放送でテレビ放映されました。
F.F.Tに参加していた生徒たちはみんな同じユニフォームを着ていて、一体感がありました。F.F.Jもユニフォームがあったらカッコいいだろうなと思いました。
会場には生徒たちのレポートや作品が展示されていました。各ブースでは、昆虫食やタイ米で作るクッキーの研究、フラワーアレンジメントや



1_F.F.Tの発表ブース 2_菊池の生徒は着物と紋付き袴姿で会場を訪れました 3_世界遺産のアユタヤ遺跡 4_さくら日本学校を訪問

アクアリウムを見ることができました。テーマに沿った興味深い内容の研究ばかりで、書かれているタイ語を翻訳しながらじっくりと展示会場を歩き回りました。
2 寺院を見学
タイの寺院は日本の寺院と比べるととても派手でした。建物も寺院も黄金で、同じ仏教でもタイと日本の違いが顕著で面白かったです。
3 日本食がブーム!?
タイの人は食事の時、フォークとスプーンを使っていました。箸も見

2年生が東京・長野へ修学旅行!

1月16日から4日間、2年生が修学旅行で東京と長野を訪れました。食品化学科2年の米沢帆夏さんは「東京スカイツリーや東京駅では、熊本とは違う街並みに心が躍りました。長野では、夢科東急ホテルに宿泊し、2日間にわたりスキー研修を

かけましたが、フォークとスプーンが一般的のようでした。手食はもち米を食べるときくらいだそうです。タイでは日本食がブームのようで、コンビニや屋台、モール内の飲食店でも日本食が多く見られました。
4 日本語学校の生徒と交流
日本語学校では、日本に働きに行く人に約3カ月、日本語を教えます。そこで交流会を行った際、日本語の勉強を始めて1週間の生徒が挨拶をしてくれました。緊張する中、頑張って日本語を伝えようとする姿に感銘を受けました。
5 研修を終えて
「おはようございます」「こんにちは」と整列し、頭を下げて挨拶をするといった日本では当たり前のもも海外では当たり前ではないと実感しました。研修で学んだ生活習慣や文化の違い、F.F.Tの様子も生徒たちに伝えていきたいと思っています。

卒業おめでとう! 103人が新たな旅立ち



3月1日に卒業式を開催。たくさんのお祝いの言葉にみんな聞き入っていました。後輩手作りのコサージュを胸元に飾った卒業生は、大きな拍手に包まれながら会場を後にしました。式後は各クラスで一人ずつ思いを話したり進路を伝えたりし、学科の先生も加わって賑やかな時間となりました。



④長野県夢科高原でスキー研修 ⑤東京ソラマチ観光の班別研修では、浅草・仲見世通りや東京駅、すみだ水族館、チームラボプラネッツTOKYOなどを満喫しました

行いました。初心者の私たちにも丁寧に教えていただき、楽しく滑ることができました。たくさんのお話を経験することができ、楽しい思い出となりました」と話していました。